

Kamoshita Piano Presents

STEINGRAEBER CONCERT


STEINGRAEBER
BAYREUTH 1852

リスト国際コンクール3冠に輝く

アレクセイ・シチェフ

Alexey Sychev

ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ 第21番「ワルトシュタイン」

Ludwig van Beethoven: Piano Sonata No. 21 "Waldstein"

リスト：ハンガリー狂詩曲 第12番

Franz Liszt: Hungarian Rhapsody No. 12

「タランテッラ」 "Tarantella"

「ラ・カンパネッラ」 "La Campanella"

ドビュッシー：花火

Claude Debussy: Feux d'artifice

プロコフィエフ：ピアノ・ソナタ 第7番

Sergei Prokofiev: Piano Sonata No. 7

ラヴェル：ラ・ヴァルス

Maurice Ravel: La Valse

世界が認めた至高の音
シュタイングレーバー
待望の日本デビュー！

2026 **2/5** 木

午後7時開演 (午後6時30分開場)

東京文化会館小ホール

(JR「上野駅」公園口改札より徒歩2分 03-3828-2111)

Thursday 5 February 2026, 7:00p.m., at Tokyo Bunka Kaikan Recital Hall

全自由席

5,000円 学生3,000円

※学生は25歳以下 当日要学生証 ※未就学児のご入場はできません

協賛：株式会社大谷



後援：一般社団法人日本ピアノ調律師協会、一般社団法人全日本ピアノ指導者協会(ピティナ)

主催：株式会社カモシタピアノ(シュタイングレーバー日本正規代理店)、輸入ピアノ.com

マネジメント・ご予約・お問合せ：ShinEn 新演コンサート 03-6384-2498 www.shin-en.jp

前
売

東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650(休館日を除く10:00~18:00)

チケットぴあ t.pia.jp(Pコード311-355)

イープラス eplus.jp(WEB/アプリ/ファミリーマート店舗)

CNプレイガイド www.cnplayguide.com 0570-08-9990(10:00~18:00)



チケットぴあ



イープラス



アレクセイ・シチェフ Alexey Sychev

ドイツ・ワイマール、イタリア・パルマそしてグロタマーレで行われたリスト国際ピアノコンクールにおいて優勝したアレクセイ・シチェフは、世界でただ一人、リスト国際コンクール3冠を達成した。ワイマールのリスト国際コンクールでは、リスト・ソナタ賞、聴衆賞を受賞、ワーグナーソサエティ奨学金を授与された。そしてバイロイトのフランツ・リストのピアノによるリサイタル、ヨーロッパ5ヶ国に渡るコンサートツアーに招聘された。それに加え、ダブリン、マリア・カナルス、ハエン、ヴィオッティ、ホセ・イトウルビ、スタインウェイコンクールをはじめとする30以上の国際コンクールで優勝、入賞を果たす。ソリストとして、ウィーン楽友協会、パリ・サル・コルトー、アムステルダム・コンセルトヘボウ、モスクワ音楽院大ホールにてデビューを果たし、ボン・ベートーヴェン音楽祭、ジーナ・バッカウアー国際ピアノ音楽祭、ヴェルディ音楽祭等、南北アメリカ、ヨーロッパ、中東、アジアの音楽祭、オーケストラから招聘されている。チェコラジオ、NaxosアメリカよりCDをリリース。2024年宮本亞門プロデュース「Next Artist」に選出され、日比谷フェスティバル等に出演。

公式HP：www.alexey-sychev.com

国際音楽コンクール世界連盟アーティストページ：<https://www.wfimc.org/artists/alexey-sychev>



STEINGRAEBER(シュタイングレーバー)について

Steingraeber & Söhne(シュタイングレーバー&ゼーネ)は、音楽祭の街として知られるドイツ・バイロイトで、1852年からアップライトとグランドピアノを製造してきました。創業当初から現在に至るまで、100%家族経営の会社であり、現在約35人の一流の職人とスタッフが、日々最高品質のピアノを手作業で製造しています。シュタイングレーバーのピアノは、世界中のコンサートホールで数多くの著名なアーティストにより演奏され続けています。

シュタイングレーバーは、昔も今も最高品質の楽器づくりににおいて常に「革新」を追求し続けています。現在の技術革新の中には、過去の演奏技法を取り入れたものもあります。例えば、グランドピアノの鍵盤の深さを8~10mmの間で滑らかに調整できる「モーツァルト・レール」や、ハンマーと弦の間に薄いフェルトを水平に差し込む「ソルディーノ」などが挙げられます。特にソルディーノは、フランツ・シューベルトが意図していたであろう「fp」のような柔らかなアクセントや繊細な音色の変化も表現することが出来ます。



Steingraeber & Söhne D232(当日使用モデル)

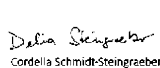
音楽を愛する皆様へ

シュタイングレーバー家から「唯一の音」を贈ります。

最高級の天然素材を選び、鍛え上げられた伝統の職人技を駆使して生きた楽器に仕上げることで、豊かな音色が生まれます。ピアノを単なる打楽器から「歌う楽器」にまで創りあげることができるメーカーは、世界で10社にも満たないと言われており、シュタイングレーバー社は、その1社であるといえることを大変誇らしく思っています。「音」を形作することは、ピアニストにとって必要不可欠であるだけでなく、独創的な表現や音楽制作を成功させるための要となるものです。

当社が創る「唯一の音」の世界の素晴らしさを是非ご体験ください。


J. Schmidt-Steingraeber


Cordella Schmidt-Steingraeber


Albert Schmidt-Steingraeber


Fanny Schmidt-Steingraeber



バイロイトの工房職人たち

シュタイングレーバーのピアノをこよなく愛したリスト“未だかつてシュタイングレーバーを越える音に出会ったことがない”

